



2020年9月30日

各 位

会社名 ハイアス・アンド・カンパニー株式会社
代表者名 代表取締役社長 濱村 聖一
(コード番号: 6192 東証第一部)
問合せ 取締役執行役員
責任者 経営支援本部副本部長 中山 史章
(TEL. 03-5747-9800)

内部統制監査報告書及び監査報告書における意見不表明に関するお知らせ

当社は、2020年9月30日付「『内部統制報告書の訂正報告書』の提出に関するお知らせ」及び同日付「第16期有価証券報告書の提出、並びに過年度の有価証券報告書等、決算短信等の訂正に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、第16期内部統制報告書及び有価証券報告書、並びに過年度に提出しました内部統制報告書、有価証券報告書及び四半期報告書の訂正報告書を提出いたします。これを受け、監査法人より、2020年4月30日現在の財務報告に係る内部統制の評価結果を表明できない旨の内部統制監査報告書を受領いたしましたので、お知らせいたします。

また、第11期、第12期、第13期、第14期及び第15期の訂正後の連結財務諸表及び財務諸表、並びに第16期の連結財務諸表及び財務諸表について、監査法人より、意見を表明しない旨の監査報告書を受領いたしました。あわせて、第13期から第16期までの各四半期の訂正後の四半期連結財務諸表についても、結論を表明しない旨の四半期レビュー報告書を受領しております。

株主、お取引先を中心とする関係者の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしますことを、心より深くお詫び申し上げます。

記

1. 監査及びレビューを実施した監査法人の名称

有限責任 あざさ監査法人

2. 内部統制監査報告書、監査報告書及び四半期レビュー報告書の内容

(1) 内部統制監査報告書

当社は、売上高の架空計上などの不適切な会計処理が存在する疑義が認識されたことから、第三者委員会による調査を実施しておりますが、2020年9月28日付の中間調査報告書において、第三者委員会は、代表取締役及び財務経理・総務部門を統括する取締役（以下、「財務経理担当取締役」という。）を含む複数の取締役による不適切な会計処理への関与又は認識があったこと、及び、2020年7月に財務経理担当取締役がメール保管期限を操作するという当監査法人によるメールデータ保全手続を妨害したものと評価せざるを得

ない行為があったと認定しております。これらについては、監査法人においても同様に判断しており、それらに加えて、不適切な会計処理が存在する疑義が認識された後の監査の過程においても、代表取締役による当監査法人に対する虚偽の説明がなされていたと判断しております。このことは、監査意見を表明する前提となる、経営者の誠実性について深刻な疑義を生じさせていることから、監査法人は、当社の2020年4月30日現在の財務報告に係る内部統制は開示すべき重要な不備があるため有効でないと表示した上記の内部統制報告書に関して、何らかの修正が必要かどうかについて判断することができませんでした。

（2）監査報告書

（1）内部統制監査報告書に記載のとおり、監査意見を表明する前提となる、経営者の誠実性について深刻な疑義を生じさせていることから、監査法人は、上記の連結財務諸表に何らかの修正が必要かどうかについて判断することができませんでした。

（3）四半期レビュー報告書

（1）内部統制監査報告書に記載のとおり、監査意見を表明する前提となる、経営者の誠実性について深刻な疑義を生じさせていることから、監査法人は、上記の四半期連結財務諸表に何らかの修正が必要かどうかについて判断することができませんでした。

3. 内部統制監査報告書、監査報告書及び四半期レビュー報告書の受領日

2020年9月30日

4. 今後の方針

当社といたしましては、今回の監査法人の意見不表明等に至った事由を重く受け止め、今後適切に対処してまいります。

以上